南アルプス市 平成 25 年度

## 事務事業マネジメントシート

(兼)予算編成資料・実施計画資料	作成日日	26 年	4 🖪	8 <b>口作</b> 时
		40 <del>4</del>	4 H	

				(水)	/ / 异硼	队具科"天旭				) <del>T</del>	4 H	○ <b>口</b> 11F)	火
			軽自動車税賦課事務			所属部局		総務部		番号	31	01	
事	事務事業名		<del>节</del> 主	牲口别半枕蜘蛛争伤			所属課室		税務課	課士	長名	廣瀬 み	ゆき
						□ 実施計画事業	所属担当	市	民税担当	担当	i 者名	渡邊	健
其	本政策	基	I 情報と演	進の揺击~	うくり		予算科目	会計	名称	款」	項 目	細目	細々目
至	<b>平以</b> 来	基本					)' <del>}'</del> 1' 1' D	01	一般	02 (	02	020	05
7	rr /±	計	01 行財政改	革の推進				☑ 国(	の制度による	義務的事	業 🔲 🛭	拖設等維持管	理事業
ц			11別以以	中V刀田匹			事業区分	□県の	の制度による	義務的事	業 🗌 🛊	甫助金交付事	業
	施策		01 財政の健	全化の推済	隹			☑市◎	の制度による	義務的事	業 🗌 🤻	その他の事業	ŧ
	心來	糸	一 対域の度	主コロック1年人	Е			□義	<b>务化されてい</b>	る協議会	等の負担	金	
車	業期間		単年度のみ 🔲 単名	年度繰返 (	開始年度	年度)	法令根拠	₩ <b>-</b>	7税法、市税	久石川			
		$\Box$	期間限定複数年度	(	$\sim$	年度)	<b>石中低拠</b>	地ク					
事事	業の内容・・・	钥間	<mark>限定複数年度事業は</mark> 型特殊自動車及び原	次年度以降	3年間の計	画内容も記載	事業費の主	な内訳	( 25年度 金額(千円	決算見	見込)		
務軽自	]動車、二輪車	、小	型特殊自動車及び原	動機付自転	車の所有者	に対する賦課徴収	<mark>項目(細</mark> 消耗品費	節)	金額(千円	〕 項	目(細節	) 金額	(千円)
務 事 経費	ľ.						消耗品費		1	1			
業							印刷製本費		78				
の terr							手数料 委託料		64				
概 要							委託料		69	3	47		
女											計		2,134

現状把握(DO)	<del>業</del> の	手数制	製本質 料	78 64	<u></u>		
(1) 事務事業の目的と指標	<mark>概</mark> 要	委託	枓	69	3 計	6 4	2,13
① 活動	1 現状把握(DO) (1) 事務事業の目的と指標						
26年度活動予定 動車検査協会等からの登録廃車申告書に基づくシステム入力、長期 ② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等  市内に定置場がある軽自動車  ③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか) 軽自動車税の賦課調定、徴収  ④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)  市財政の健全化  → ア 軽自動車税の賦課調定	(1) 活動		⑤ 活動指	標(事務事業の 名称	活動量を表す指	<del>標)数字は記入し</del> 単位	ない
(②) 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等  市内に定置場がある軽自動車  ③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)  軽自動車税の賦課調定、徴収  ④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)  市財政の健全化  (⑤) 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない  名称  第位  フ、軽自動車税の課税台数  イ、  ウ  ② 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない  名称  単位  フ、軽自動車税の課課調定  イ、  ウ  ※ 軽自動車税の賦課調定  ・ 千円  イック  ・ 「軽自動車税の賦課調定  ・ 千円  イック  ・ 「軽自動車税の財産課調定  ・ 千円  イック  ・ 「軽自動車税の財産課務である。  ・ 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	00万度 1754 R 内 原動機付自転車及び小型特殊自動車の新規登録、廃車受付、軽自	⇒	767-11	:録件数 :数		件 件	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)  軽自動車税の賦課調定、徴収  ④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)  市財政の健全化  → ス・ ウ	野単便重励云寺が50万登録廃単中百音に至 スンヘノムスカ、区別		⑥ 対象指	標(対象の大き	さを表す指標)数	<mark>字は記入しない</mark>	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)  軽自動車税の賦課調定、徴収  ④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)  市財政の健全化  ・ 対  ・ で軽自動車税の財業調定 千円 ・ イ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市内に定置場がある軽自動車	⇒	ア 軽自動	車税の課税台	数	台	
(4) 上位目的(どのような結果に結び付けるのか) (5) 市財政の健全化 (6) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない (7) (8) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない (7) (4) (7) (7) (8) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない (7) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		ウの成果指	標(対象における)	意図の達成度を表	<mark>す指標)数字は記</mark> み	しな
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)       8 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない名称       単位         市財政の健全化       プ、軽自動車税の現年課税徴収率       %	軽自動車税の賦課調定、徴収	⇒	ア軽自動	名杯 )車税の賦課調	定	<b>単位</b> 千円	
	④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成	果指標(結果の	達成度を表す指	(標)数字は記入し	しなし
	市財政の健全化		ア 軽自動	<b>名称</b> )車税の現年課	税徴収率	<b>単位</b> %	
	22年度 24年度 25年度	<u> </u>	1	97年度	20年度	是紋	在由

(2) 📱	事美	<b>業費・指標の推移</b>	多	単位	23年度 (決算·実績)	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算見込·実績)	26年度 (予算·目標)	27年度 (計画·目標)	28年度 (計画·目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年		財 国庫支出金	<b>企</b>	十円							
間	事	源場大田金		千円						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
ト	~	内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		千円			24	24	24	24	
ター	Ę	一般財源		千円	2,372	2,663	2,110	2,786	2,786	2,786	
		事業費計(A	.)	千円	2,372	2,663	2,134	2,810	2,810	2,810	0
7 /	٧	777704000 PC 4-7-7-	.数	人	2	2	2	2	2	2	
I 11º	4	延べ業務時間		時間	2,500	2,250	1,890	1,890	1,890	1,890	
   	貴	人件費計 (B)		千円	11,378	10,240	8,601	8,601	8,601	8,601	0
_		(A)+(B)		千円	13,750	12,903	10,735	11,411	11,411	11,411	0
			ア	件	6,705.0	6,189.0	6,400.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	
	活動指標 イ			件	6,169.0	5,619.0	5,600.0	5,600.0	5,600.0	5,600.0	
			ゥ								
			ア	台	40,784.0	40,912.0	41,404.0	42,200.0	42,600.0	43,000.0	
		対象指標	イ ウ								
		-	ア	千円	187,992.0	191,349.0	195,728.0	203,200.0	207,000.0	211,000.0	
		成果指標	イウ								
	上	位成果指標	ア	%	96.7	97.3	97.4	97.4	97.4	97.4	

## (3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	地方税法、市税条例に基づき、軽自動車税の賦課徴収を行う。
	景気低迷・原油高騰により普通自動車から軽自動車への乗換えなどにより課税客体が増加している。 H27年度から軽自動車税の増税あり。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議 会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	▼ 取り組みしている ⇒【内容↓】 □ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	納期限を4月から5月末日への変更。 課税保留要綱の制定。 H22〜コンビニ納付の実施。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	H24年度から引き続き、軽自動車税長期滞納車両を調査(市内)し、廃車指導・課税保留を行った。また、自動車 リサイクルシステムにより滞納車両のチェックを行い、解体が判明した車両については適正な課税となるよう改善

	事務事業名	軽自動車税	賦課事務	所属部	総務部	所属課	税務課	
2		<b>事後評価</b> (複数	女年度事業は途中評価)			-		
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系 の施策に結びつき、貢献しているか? 意図が上位目的に結びついているか?	<ul><li>届びついて</li><li>対政の健全化</li></ul>	[いない(見直し余地がある) = [いる →【理由↓】 こ結びついている。				性に反映	
的	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか?	ieck2)・4今後の方	向性に反映					
評	は可能か?	ある。□ 民間・NPO	市民協	働				
1曲	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か?目的や事業の必要性を見直す余地はあるか?	地方税法、市税	→【理由↓】 Á条例に基づき、軽自動車税の	賦課徴収を行っ	<b>eck2)・4今後の方</b> っている。	何性に反映		
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか?できない場合は何か原因でできないのか?	□ ある程度向 □ 向上余地が	余地がある ⇒【理由↓ ]上余地がある ⇒【理由↓ がない ⇒【理由↓ は、軽自動車の新規登録、廃車	】 ⇒ 3評 】	価(Check2)・4今 価(Check2)・4今 の余地はない。			
有効性評価	カ 類似した目的を持つ事務事業が他にあ とした。 大のでである。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のであれる。 大のである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たってものである。 たっとものである。 たってものである。 たっとものである。 たっとものである。 たっとものである。 たっとものである。 たっとものでものである。 たっとものでものである。 たっとものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでも							
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止するとはできるか?	法定事務である		j E	休止・廃止ができる  ✓ 休止・廃止できない  大定事務である。	、 ⇒【理由↓】		
効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減 できないか?(仕様や工法の適正化、 住民の協力など)		がない →【理由↓】 又のための必要経費であり、削え	咸の余地はない				
評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委 託による削減はできるか?)	♥ 削減余地が 削減余地が 県ナンバーの第	がない →【理由↓】 所規・廃車・登録作業を臨時職員	員により入力。	3評価(Check2)・4	今後の万回性	こ反映	
平性	ていないか?受益者負担を見直す必要	☑ 公平・公正 地方税法及び市	□ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由↓】 地方税法及び市税条例に基づき、適正な賦課徴収を行っている。					
3				***	·田ナ振!  左! 左ぶいよ	-1. 一种的 人名	のナウ州なについて)	
(I)	) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☑ 適切 □ 見直	1.金地あり	(2) 1次評価の総括(事務事 軽自動車は景気の低迷、原油 納率の向上につながるよう、業績	価格の高騰によ	り課税客体が年々増加			
	②有効性 図 適切 □見直	し余地あり	スクラップアンドビルド事業提案			の軽自動車入力を	:臨時職員としていく。	
	③ 効率性       □ 適切       ☑ 見直         ④ 公平性       ☑ 適切       □ 見直							
(1	今後の方向性(事務事業担当詞) )今後の事務事業の方向性(Check	1の結果から定		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		改革・改善による	る方向性	
	廃止(目的妥当性①、②、③の結果) 休止(目的妥当性①、②、③の結果)		合・連携(有効性⑤の結果)□ 2 上(有効性④の結果) <b>▽</b> 5	公平性改善(公主 見状維持(全評(		<u>`</u>	スト水準	
(2	必要性検討(目的妥当性①、②、③の終 2)改革改善案について になし	吉果)□ コスト削			成果水準	維持増加		
<u> </u>	)みせみ業を中田ナチレマのオナベ	土細野しての町	1. h #5		/E>-		の場合は記入不要	
	) 改革改善を実現する上で解決すべ になじ	<b>さ</b>	·			事務事業優先度評 果優先度評価結	平価結果 平成25年度 果 ②	
					==	スト削減優先度評	平価結果 ④	